

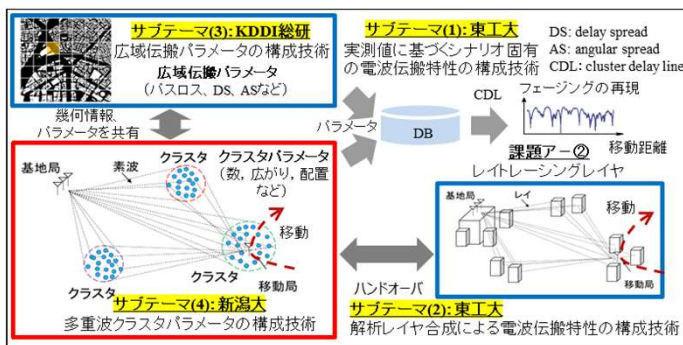
## 技術課題ア 電波伝搬・空間モデルの構成技術

### 研究開発概要

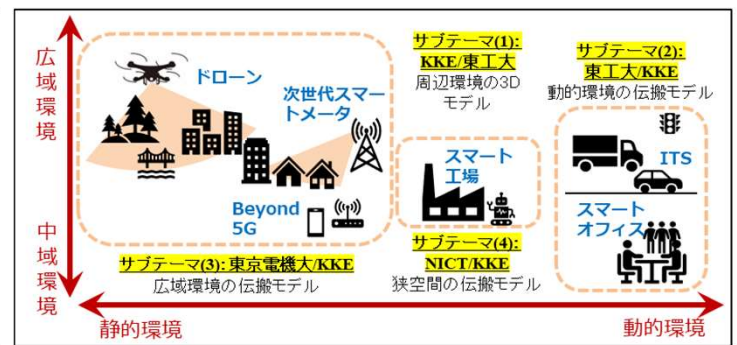
	開発対象項目	開発の方針
共通	SoS-TDL時刻データ生成	CPSワイヤレスエミュレータで連続的に稼働するモデルを実現。(東工大)
	広域パラメータ	統計的に80%精度を目指す。(KDDI総研)
伝搬モデル	多重波クラスタパラメータ	統計的に80%精度を目指す。(新潟大)
	幾何モデル	高精度な空間モデルを構成。誤差1m以下の精度を目指す。(KKE、東工大)
レイアウト	各環境のレイトレーシング	統計的に80%精度を目指す。(東工大、東京電機大、NICT、KKE)

### 研究開発内容

#### 技術課題アー①



#### 技術課題アー②



### 研究開発成果<実績>

課題	達成状況
アー①(1)	エリアで実測されたチャンネル応答にアンサンブルカルマンフィルタを用いた連続的補間の実現
アー①(2)	移動する遮蔽物体に対するSoS-TDLモデル生成法の開発, SoS-TDLモデルの仮想無線機用標準モデルへのパラメータ変換方法の開発
アー①(3)	考案技術のミリ波帯への拡張に向けて, レイトレーシングデータによる評価を完了. 実測データを用いた評価を完了予定
アー①(4)	ミリ波帯クラスタモデルの確立及びSub-6GHz帯クラスタ測定・伝搬モデルレイヤの実装
アー②(1)	屋外・屋内環境の点群データをレイトレーシングシミュレーションに適した単純化されたCADモデルに変換する手法を検討, 及び自由空間法に基づく建材物性パラメータ推定手法の確立
アー②(2)	動的伝搬チャネル予測手法を確立. 技術試験事務と共同でオフィス環境で実験を行い, 有効性を検証
アー②(3)	複数シナリオにおけるレイトレーシングパラメータを最適化し, 高精度空間モデルを最適化システムに適用. 山岳環境の伝搬損失推定モデルを構築
アー②(4)	工場3Dモデルを簡易化し, レイトレーシング解析のパラメータ調整により精度を改善